

記念物  
【天然記念物】

あらかわ

## 荒川のカンヒザクラ自生地

じせいち

指定年月日／1972(昭和 47)年 5 月 15 日

所在地／桴海大田山林

*Cerasus cerasoides* (D.Don) S.Ya.Sokolov var. *campanulata* (Maxim.) X.R.Wang et C.B.Shang, 1998

撮影：松島昭司

カンヒザクラ自生地となっている。この一帯は花崗岩が風化してできた土壌で、サクラの生育に適しているからだと言われている。ヒカンザクラ（緋寒桜）と呼ばれることもあるが、ヒガンザクラ（彼岸桜）と混合されやすいため、近年ではカンヒザクラ（寒緋桜）と呼ばれる事が多くなっている。

カンヒザクラは石垣島が最も寒い1～2月の時期、濃く明るい緋色の花を咲かせるところから、この名が付けられた。「さくらいろ」という言葉を生んだソメイヨシノをはじめとする本土の淡紅色のサクラとは違って、濃い紅紫色をした南国的な鮮やかな色調が特徴となっている。

荒川のカンヒザクラは、米原地区の西後方の荒川沿いや、上流地帯の常緑樹の間に点在しており、樹高は高いもので約6mにもなる。ここでは日本列島に春の訪れを告げる「サクラ前線」のはしりを見る事ができ、国内では唯一の貴重なカ

記念物  
【天然記念物】

みやらがわ

## 宮良川のヒルギ林

りん

指定年月日／1972（昭和 47）年 5 月 15 日

所在地／宮良川流域



石垣島最大の宮良川河口に広がるマングローブ林。マングローブというのは、ヒルギ、クマツヅラ、マヤブシギなど熱帯、亜熱帯の海岸や河口にできる植物の集合のことで、なかでもヒルギの仲間が多いことから、ヒルギ林とも呼ばれている。

石垣島における主なヒルギ林は、宮良川の他にも名蔵川、吹通川があるが、特に宮良川のヒルギ林は、平地を流れるゆったりとした幅広い川を挟んで、景観、規模ともに群を抜いている。河口や流れに近い所では、主にヤエヤマヒルギが生育し、流れのゆるやかな安定した場所では、オヒルギが生えている。

そして、それらの周辺では、ハマナツメやアダン、イボタクサギなどが陣取り、それぞれ一種の住み分けをしている。

石垣島に生育するヒルギには、前記2種のほかにメヒルギやクマツヅラ科のヒルギダマシ、ヒルギモドキ、マヤブシギなどがあるが、いずれも海水と淡水の混ざり合う限られた場所のみ生育するため、環境保護には十分注意が必要である。